

授業科目	日本語教育演習 I 【演習】		開講時期	前期
担当教員	鷹野 恵		単 位	2
授業の目的と概要	<p>「外国語としての日本語」を教えるための実際的な技能を身につけることが目的です。効果的に日本語を教えるには、何が必要なのか、どのように教えたらいいのかを知り、できるようになることを目指します。国内・国外で日本語を教えるための土台を作ることに重点が置かれる。また、即戦力としての人材を育成するため、現場に即した授業の展開のしかたを念頭に進行される。授業は、原則教科書に沿い、進めます。適宜、ワークショップ形式の演習を行い、体験を通じた学びを目指します。また、都度、まとめのレポートを書き、自己内省（ふりかえり）をすることで、整理をしていきます。</p>			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語教師としての実務をひと通り学び、主に、初級レベルの授業をひととおりにこなせるようになる。 ・<Plan-Do-See>のステップにより、日本語教師が授業前に行うこと、実際のパフォーマンス、ふりかえりというサイクルを習得する。 			
この授業が目的としているDPや関連する科目など	<p>(3) -②-2 日本語の構造や特徴について概要を説明することができる。 (4) -①-これまでに獲得した知識・技能・態度等を総合的に活用し、自らが立てた新たな課題に向き合うことができる。「課題探究力」 この科目は日本語教員の実務経験のある教員が担当しており、「授業の目的と概要」記載どおりの実践的教育を行います。</p>			
授業計画	授 業 内 容	授 業 外 学 修 等		
第1回	イントロダクション	初級の全体像についてふりかえる		
第2回	初級の授業の全体像	担当箇所の教案の作成		
第3回	授業案作成（1） 全ての素案を立てる	担当箇所の教案の作成		
第4回	授業案作成（2） アイデアを可視化する	模擬授業の準備 授業のふりかえり		
第5回	模擬授業と検討内容（1） 第8・9課	模擬授業の準備 授業のふりかえり		
第6回	模擬授業と検討内容（2） 第9・10課	模擬授業の準備 授業のふりかえり		
第7回	模擬授業と検討内容（3） 第10・11課	模擬授業の準備 授業のふりかえり		
第8回	模擬授業と検討内容（4） 第12課	模擬授業の準備 授業のふりかえり		
第9回	模擬授業と検討内容（5） 第13課	模擬授業の準備 授業のふりかえり		
第10回	模擬授業と検討内容（6） 第14課	模擬授業の準備 授業のふりかえり		
第11回	模擬授業と検討内容（7） 第14・15課	模擬授業の準備 授業のふりかえり		
第12回	模擬授業と検討内容（8） 第16・17課	模擬授業の準備 授業のふりかえり		
第13回	模擬授業と検討内容（9） 第18課	テスト作成		
第14回	模擬授業と検討内容（9） 第19課	ふりかえり		
第15回	まとめ	レポート作成		
成績評価	割合（％）、種類・評価基準など			
定期試験	なし			
レポート	30% 詳細は最初の授業で指示します。			
小テスト等	なし			
成果発表	50% 教案および模擬授業・実習を評価します。			
受講態度他	20% 学習活動への積極的参加			
受講上の留意点・ルールに関わる情報	<p>欠席をしないようにし、積極的に授業に取り組んでください。 また、ペアとの協働を意識し、どうすればよりよい授業ができるかを考え、積極的なディスカッションを期待します。 交換留学生を対象とす実習も実施します。積極的にコミュニケーションをはかり、日本語学習者の学習過程を観察、分析してください。</p>			
教科書	『みんなの日本語 初級 I 本冊 第2版』（スリーエーネットワーク）			
指定図書	なし			
参考図書	『初級を教える人のための文法ハンドブック』白川博之監修（スリーエーネットワーク） 『初級日本語文法と教え方のポイント』市川保子（スリーエーネットワーク）			
オフィスアワー	火曜 5 講時	メールアドレス		

授業科目	日本語教育演習Ⅱ【演習】		開講時期	後期
担当教員	鷹野 恵		単 位	2
授業の目的と概要	<p>「外国語としての日本語」を教えるための実際的な技能を身につけることが目的です。効果的に日本語を教えるには、何が必要なのか、どのように教えたらよいのかを知り、できるようになることを目指します。国内・国外で日本語を教えるための土台を作ることに重点が置かれます。また、即戦力としての人材を育成するため、現場に即した授業の展開のしかたを念頭に、授業を進めます。授業は、原則教科書に沿い、進めます。適宜、ワークショップ形式の演習を行い、体験を通じた学びを目指します。また、都度、まとめのレポートを書き、自己内省（ふりかえり）をすることで、整理をしていきます。</p>			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語教師としての実務をひと通り学び、主に、中級・上級レベルの授業をひととおりこなせるようになる。 ・<Plan-Do-See>のステップにより、日本語教師が授業前に行うこと、実際のパフォーマンス、ふりかえりというサイクルを習得する。 			
この授業が目的としてDPや関連する科目など	<p>(3) -②-2 日本語の構造や特徴について概要を説明することができる。 (4) -①- これまでに獲得した知識・技能・態度等を総合的に活用し、自らが立てた新たな課題に向き合うことができる。「課題探究力」 この科目は日本語教員の実務経験のある教員が担当しており、「授業の目的と概要」記載どおりの実践的教育を行います。</p>			
授業計画	授 業 内 容	授 業 外 学 修 など		
第1回	イントロダクション	初級の全体像についてふりかえる		
第2回	中級・上級の授業の全体像	担当箇所の教案の作成		
第3回	模擬授業・初級（1）自由選択	担当箇所の教案の作成		
第4回	模擬授業・初級（2）自由選択	模擬授業の準備 授業のふりかえり		
第5回	模擬授業・初級（3）自由選択	模擬授業の準備 授業のふりかえり		
第6回	模擬授業・中級（1） J-Bridge 第2課	模擬授業の準備 授業のふりかえり		
第7回	模擬授業・中級（2） 中級から学ぶ日本語 第8課<導入>	模擬授業の準備 授業のふりかえり		
第8回	模擬授業・中級（3） 中級から学ぶ日本語 第8課<応用>	模擬授業の準備 授業のふりかえり		
第9回	模擬授業・中級（4） 中級から学ぶ日本語 第10課<導入>	模擬授業の準備 授業のふりかえり		
第10回	模擬授業・中級（5） 中級から学ぶ日本語 第10課<応用>	模擬授業の準備 授業のふりかえり		
第11回	模擬授業・中級（6） 文化中級日本語 第6課<導入>	模擬授業の準備 授業のふりかえり		
第12回	模擬授業・中級（7） 文化中級日本語 第6課<応用>	模擬授業の準備 授業のふりかえり		
第13回	模擬授業・中級（8） ロールプレイで学ぶ中級から上級への日本語	テスト作成		
第14回	交換留学生への教壇実習（上級レベル）	ふりかえり		
第15回	まとめ	レポート作成		
成績評価	割 合（％）、種類・評価基準など			
定期試験	なし			
レポート	30% 詳細は最初の授業で指示します。			
小テスト等	なし			
成果発表	50% 教案および模擬授業を評価します。			
受講態度他	20% 学習活動への積極的参加			
受講上の留意点・ルールに関わる情報	欠席をしないようにし、積極的に授業に取り組んでください。また、協働を意識し、どうすればよりよい授業ができるかを考え、積極的なディスカッションを期待します。			
教科書	なし			
指定図書	なし			
参考図書	『初級を教える人のための文法ハンドブック』白川博之監修（スリーイーネットワーク） 『初級日本語文法と教え方のポイント』市川保子（スリーイーネットワーク）			
オフィスアワー	火曜 5講時	メールアドレス		

授業科目	日本語教材研究【講義】		開講時期	後期
担当教員	鷹野 恵		単 位	2
授業の目的と概要	<p>「外国語としての日本語」を教えるための基礎知識と技能を身につけることが目的です。教材・教具は教師が授業をするうえでもっとも重要な道具です。その道具を「見る目」を身につけることを目的とします。</p> <p>授業は、プリントによって進めます。また、調べ学習、グループ学習、体験等を通した学びを目指します。また、都度、まとめのレポートを書き、自己内省（ふりかえり）をすることで、整理をしていきます。</p>			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、現場で多く採用されている日本語の教科書を題材に分析を行い、各教材の特徴を理解することができる。 ・教材の特徴を理解したうえで、使用方法についていくつかの道筋を立てることができる。 			
この授業が目的としているDPや関連する科目など	<p>(2) -①多様な価値観を尊重し、他者とつながるための意思疎通ができる。「コミュニケーション・スキル」</p> <p>(3) -②-2 日本語の構造や特徴について概要を説明することができる。</p> <p>この科目は日本語教員の実務経験のある教員が担当しており、「授業の目的と概要」記載どおりの実践的教育を行います。</p>			
授業計画	授 業 内 容	授 業 外 学 修 等		
第1回	教具とは何か	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第2回	日本語教材選択の視点	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第3回	学習者を知る ―レディネス調査・ニーズ調査―	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第4回	教科書の構成	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第5回	教科書の種類（一般成人・留学生、ビジネスパーソン、技術研修生、年少者）	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第6回	教材分析（1）初級：構造シラバス	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第7回	教材分析（2）初級：構造シラバス以外	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第8回	教材分析（3）中級：一般成人・留学生対象	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第9回	教材分析（4）中級：一般成人・留学生対象以外	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第10回	教科書以外の教具―カード類、音声教材―	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第11回	教材使用法検討（1）初級の場合	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第12回	教材使用法検討（2）中級の場合	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第13回	教材使用法検討（3）上級の場合	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第14回	日本語教育の現状―留学生・技術研修生・年少者・海外―	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第15回	まとめ	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
成績評価	割 合（％）、種 類・評 価 基 準 等			
定期試験	30%			
レポート	20%（全2回）テーマは原則自由。①授業前半の内容から、②授業全体の内容から ※必ず、参考図書2冊以上を読み、引用しながら書くこと			
小テスト等	なし			
成果発表	30%（全2回）①教材分析、②教材作成			
受講態度他	20%			
受講上の留意点・ルールに関わる情報	<ul style="list-style-type: none"> ・欠席をしないようにし、積極的に授業に取り組んでください。 ・ペアまたはグループによる活動があります。相手とのコミュニケーションを積極的にとるよう心掛けてください。 			
教科書	『みんなの日本語 初級Ⅰ 本冊 ※第2版』（スリーエーネットワーク） ※第1版ではありません			
指定図書	なし			
参考図書	吉岡英幸（2008）『徹底ガイド 日本語教材』凡人社 国際交流基金（2008）『教材開発』ひつじ書房			
オフィスアワー	木曜 4 講：メールで連絡を事前にする	メールアドレス		